

市史へんさん

第206号

平成28年5月1日
小松市史編纂事務局
へんさんだより

芦城公園では藤の花が見ごろです。例年ならGW明けあたりが満開ですが、今年は暖かいせいか、4月末頃から咲き出しています。藤の香りが5月の訪れを感じます。ぜひご観賞ください。

さて、4月末に、石文化が日本遺産に認定され、先に、「歌舞伎のまち・小松」がいしかわ歴史遺産第一弾に選ばれ、小松の伝統文化が注目を集めています。早速、石文化の展覧会がヒルズで開催され、全国子供歌舞伎フェスティバル、お旅まつりも間もなく始まります。今年の5月も、去年の植樹祭に続き、市民力で熱い小松を演出しましょう！

お旅まつり 曳山子供歌舞伎 250年本祭



材木町曳山

曳山子供歌舞伎は、明和3年(1766)に始まり今年250年の節目を迎えます。小松の産業、特に絹織物がもたらした大きな富が町人達の財力と教養を高め、やがて曳山誕生の礎となりました。こうして町人文化の粹となった曳山は、今日では日本三大子供歌舞伎に数えられています。平成2年に市制50周年を記念して始まった曳山八基曳揃えは、今年は昼には一堂に会し、昼夜2回の上演があります。

平成28年 当番町

材木町 仮名手本忠臣蔵 七段目 一力茶屋一幕
西町 辰巳用水命光輝 稲葉左近館之場

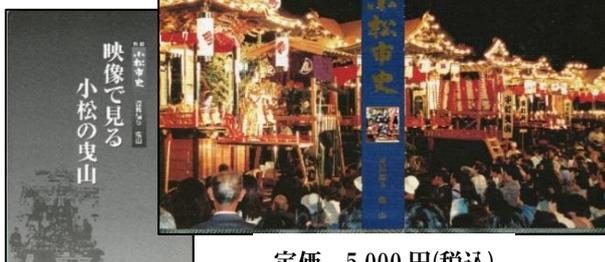


西町曳山

材木町 旧見送りに使われていた「虎の図」の板絵の裏面に「文化10年(1813)」と墨書され同年以前につくられたと推定される。当町に在住した九谷焼の名工粟生屋源右衛門が描く曳山舞台格天井の花鳥図15枚は圧巻。楽屋の天井に岸駒筆と伝えられる龍の墨絵もある。平成2年(1990)には御大典を記念して大修理を行い、組物にも金箔を施し、絢爛さが増す。

西町 曳山の棟札によると、寛政2年(1790)の建造で、加賀藩の名匠山上善右衛門の流れを汲む大工の棟梁藤山清九郎の作である。囃子方の乗る楽屋は別棟で、舞台天井に唐獅子牡丹図を描く。明治初年の見送りは西町若連中が寄付したもので、保存箱に墨書がある。図柄は鳳凰の下に中国人風人物が8人描かれ、その刺繍は豪華絢爛。

「新修 小松市史 資料編5 曳山」もご覧ください!!



映像で見る
小松の曳山

定価 5,000円(税込)

いしかわ歴史遺産 全国に本県の魅力を発信し、観光誘客や地域活性化を図ることを目的に創設。1月に、5件の認定を受け、小松市の「平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松」が選ばれた。曳山に代表される町人文化をはじめ、安宅、勧進帳物語、小松の歴史ロマンをストーリーとしてつなぐ。

『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～ 日本遺産認定



建造物：小松城本丸櫓台石垣

日本遺産は、地域に点在する文化財を「物語」に取り込み、観光資源として活用していくことを目的に、文化庁が認定するものです。平成28年度は67件の申請から19件が認定され、この中に、小松の石文化が入りました。「ふるさとこまつ」には、ここにしかない先人から引き継いだ「技」と「心」があり、弥生時代の太古より今日まで育んだ貴重な「資源」が石文化となって、この度の日本遺産に認定されました。

「石の物語」の発信は、弥生時代の碧玉を原料した、「玉づくり」から始まります。古墳時代には凝灰岩製の腕輪が人気を博し、横穴式石室には凝灰岩を使って最先端の技術が採用され、中世には、石工道具が普及し、生活道具としての利用が浸透し、まさに小松の凝灰岩文化が花開きました。近世に入り、前田利常公の入城が決まるや小松城が整備され、その石垣は小松産の石材を当時の最新工法「切り込みはぎ」で積み上げ、しかも石のコントラストで美を表現したこだわりの建築でした。この頃から本格的な石切り場の開発が始まり、石文化が広く浸透していくこととなります。明治期に、ジャパネクタニと世界でも称賛された九谷焼は花坂の陶石が用いられ、尾小屋、遊泉寺、金平町鋳山と共に維新後の経済を支えました。こうして小松の石材は石蔵をはじめとする建造物や、国会議事堂など全国の数々の有名建築物に使用され、その魅力を伝えています。

今年度、市史編纂事業は『産業編』を発刊する予定です。この中で、石材産業の受け継がれた「技」と「心」を、また時代のニーズに応じた人、モノ、技術が交流する豊かな石文化の魅力を、資料をとおしてお伝えできたらと思っています。



『近世村方編』6月より販売開始！

12月まで、特別価格(3,800円)にて、『新修 小松市史資料編 13 近世村方』を6月より販売します。詳細は来月号でお知らせいたします。

<事務局5月の活動予定>

- ・ 5月12日(木) 茶業関係石碑調査
- ・ 5月19日(木) 産業部会
- ・ 5月20日(金) 町家実測調査
- ・ 5月20日(金) 市史完成報告会
- ・ 5月27日(金) 町家実測調査
- ・ 5月27日(金) 考古部会立上げ

<事務局4月の活動状況>

- ・ 4月6日(水) 塩業関係資料調査(浜佐美町)



<5月のカレンダー>

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・ TEL 0761(24)5315
- ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>